

議会

132

9月定例議会号

だより

令和4年11月

発行 佐呂間町議会



TOPIC

町政について議員が問う

一般質問「町防災行政無線の現状について」など

まちで輝いている人たちを紹介します

みんなの笑顔でまちを元気に！「佐呂間パークゴルフ協会」の皆さん

＜佐呂間神社 秋季例大祭＞

神社本殿では踊り山として華麗な踊りが披露され、観客を魅了しました。

（令和4年9月25日撮影）



さろま

あなたと町議会を結ぶ情報誌

町議会URL <https://www.town.saroma.hokkaido.jp/gikai/>

第3回定例会

・審議した議案②

第3回定例会

・審議した議案①

第3回定例会が9月14日から16日の間で開催され、議案8件、同意7件、承認1件、認定1件、報告1件、意見書1件の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

コロナ禍における原油価格・物価高騰対策費及び安全操業のため漁船航路を確保する浚渫事業費等を追加

審議した議案

予算

■令和4年度一般会計補正予算(第5号)
1億7369万円が追加され、予算の総額が58億1306万円になりました。

【主な歳入】

- ・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費補助金 1500万円
- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 4128万円
- ・高齢者世帯等生活支援事業費補助金 305万円
- ・地域づくりの総合交付金 6300万円
- ・企業版ふるさと納税寄附金 1000万円
- ・財政調整基金繰入金 4693万円

・クリニックさろま運営費負担金返還金 811万円
・臨時財政対策債 ▲402万円

【主な歳出】

- ・役場庁舎補強工事 700万円
- ・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業補助金 1500万円
- ・高齢者世帯等生活支援給付金 633万円
- ・国庫負担金等返還金 236万円
- ・備品等購入費(地場産品開発研究センター) 180万円

「企業版ふるさと納税」
企業が地方公共団体による地方創生の取り組みに対して寄附を行った場合に、最大9割の法人関係税の税額控除が受けられる制度。

・民有林整備促進事業補助金 687万円
・キムアネップ岬沖大瀬航路浚渫事業費補助金 7877万円
・プレミアム付全町共通商品券発行事業補助金 4120万円
・観光物産交流拠点施設改修工事 1302万円
・修繕料(建設車両) 678万円
・図書館排水管改修工事 170万円

■令和4年度一般会計補正予算(第6号)
2321万円が追加され、予算の総額が58億3628万円になりました。

【主な歳入】

- ・新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金 865万円
- ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金 1456万円

【主な歳出】
・予防接種委託料 1164万円
・新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター業務委託料 1087万円

■令和4年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
42万円が追加され、予算の総額が8億1454万円になりました。

【主な歳入】

- ・前年度繰越金 991万円
- ・国庫負担金等返還金 991万円

条例

■職員の育児休業等に関する条例の一部改正
国家公務員に係る「妊娠・出産・育児等と仕事の両立支援のために講じる措置」のうち、未施行であった「育児休業の取得回数制限の緩和」「育児参加のための休暇の対象期間の拡大等の措置」について施行されることから、地方公務員との措置権衡を踏まえ、条例を改正するものです。



■税条例等の一部改正
令和4年度地方税制改正において、脱炭素社会を実現する等の観点から、住宅借入金等を有する場合の所得税額の特別控除制度の見直しを行うほか、納税環境の整備、租税特別措置の見直し等の措置を講ずることとなり、令和5年1月1日から施行される所要の規定の整備を行うため、税条例等を改正するものです。

同意

■教育長の任命同意
本町の教育行政の責任者である教育長として、次の方の任命について同意しました。

◎中園 谷川 敦 氏

任期については令和4年10月1日から令和7年9月30日までの3年間となります。

■教育委員の任命同意

教育委員として、次の方の再任について同意しました。

◎仁倉 内藤宏文 氏

任期については令和4年10月14日から令和8年10月13日までの4年間となります。

■情報公開・個人情報保護

審査会委員の任命同意
個人情報保護等に関する調査及び審査を行う情報公開・個人情報保護審査会委員として、次の方々の再任について同意しました。

その他

■専決処分の承認

令和4年度一般会計補正予算(第4号)の専決処分について承認しました。
144万円が追加され、予算の総額が56億3937万円になりました。



【主な歳入】

- ・財政調整基金繰入金 144万円
- ・消耗品費(感染症予防経費) 144万円

■工事請負契約の締結の議決事項の変更

第2回定例会にて議決された「サロマ湖展望台(休憩所)改修工事」において、展望台外壁を剥がした際に内部の木柱等の腐食が著しく、新たな施工箇所が増えたため変更契約をするもので、契約相手方や工期に変更はありません。

・変更前の契約金額 7480万円
・変更後の契約金額 7873万円

■工事請負契約の締結の議決事項の変更

第2回定例会にて議決された「若佐給水区配水池新設工事」において、電気計装設備の規模確定により格納する上屋の規模も確定し、配水池上部に一体的に施工する構造として設計変更し、円滑な工事施工を図るため変更契約をするもので、契約相手方や工期に変更はありません。

・変更前の契約金額 8030万円
・変更後の契約金額 9553万円

第3回定例会

・町長行政報告

町長行政報告(要旨)

■新型コロナウイルスワクチン4回目追加接種の状況
8月23日から集団接種を開始し、10月21日をもって接種を完了する予定です。

9月2日終了時点での接種率は、対象となる60歳以上の方、18歳以上59歳以下の基礎疾患を有する方、医療従事者及び高齢者施設等の従事者で3508人中、39・7%の1391人となっています。

また、オミクロン株対応ワクチン接種については、9月2日に国の分科会において、接種時期や対象者等の方針が決まり、初回接種(1、2回目)が完了している12歳以上すべての町民を対象に実施することとされており、現時点での本町の接種時期は未定ですが、国からの情報収集や近隣自治体との情報交換等を行い、正式決定された場合を想定し、迅速に対応できるよう準備を進めています。

■農作物の生育・収穫状況
農作物の生育は平年並みに進んでおり、秋まき小麦は縮萎縮病の影響と一部でなまぐ

さ黒穂病が発生しましたが、平年並みの収量であり、ピートも平年並みの生育となっており、糖度の上がる時期を迎え、安定した天候を願います。

カボチャは、圃場により格差はあるものの、平年並みの収量となる見込みです。

飼料作物は、一番牧草の収量が平年以上となり、二番牧草も平年並みの収量が期待されており、テントコーンも生育は良く、平年並みの収量見込みです。

■酪農・畜産の状況
生乳生産は、前年を上回る生産量となっていますが、個体販売は生乳の生産調整の影響から初妊牛は下落し、肉用牛も飼料高騰の影響により下落しています。

また、豚肉価格は安定していますが、飼料と燃油の高騰で酪農・畜産全般において経営を圧迫している状況です。

次に、家畜伝染病であるサルモネラ症発生の報告があり、発生した施設では全頭検査を実施し、感染牛の治療や、予防策として当該施設で飼養中の陰性仔牛への投薬を行い、自衛防疫組合にて洗浄・消毒作業を実施しました。

■漁業の状況
北海シマエビ漁は、資源保護のため本年度4年目の禁漁としています。

ほたて採苗事業は、順調に採苗が付着し、数量は十分に確保できる見込みであり、外海ほたて漁業は、B海区9300トンの漁獲計画に対し、8月26日時点で64・7%を水揚げしており、オホーツク海全体では昨年度実績33万トンに対し、本年度は29万トンの計画で操業しています。

浜値は、キロ単価155円の計画に対し、平均単価248・5円で推移しており、概ね計画は達成できる見通しですが、コロナ禍からの経済回復や円安の影響もあり、物流問題など今後の市況及び輸動向を注視しています。

ほたて加工製品は、高歩留まりにより製品出来高は昨年と同程度となる見通しです。

養殖ほたて漁業は、概ね計画どおりの1700トンが見込まれています。

ます小型定置網漁業の漁獲量は、8月27日現在で昨年対比37・7%となっており、さけ定置網漁業は、例年どおり9月4日からの操業であり、本年のオホーツク海中部地区

の秋さけ来遊予想は、対前年比68%と見込まれ、今後の漁獲に期待しています。

■令和4年度バーマ市姉妹校交流派遣事業の中止
新型コロナウイルス感染が続く中、生徒の安全と健康を一番に考え、本年度もバーマ市生徒の受入れと本町生徒の派遣を中止しました。

■令和5年成人式の名称
民法改正に伴う成年年齢が、20歳から18歳に引き下げられることから初めて開催する成人式であり、本町では既に20歳を対象に開催することを決定していましたが、名称を「二十歳の成人式」とし、開催日はこれまでと同様に「成人の日」の前日として、令和5年1月8日(日)に開催します。

■サロマ湖100kmウルトラマラソン・オンラインチャレンジの開催結果
今年も代替大会として、6月26日から7月23日の4週間で開催され、各種目へのエントリー総数4088名、うち完走者総数は3502名となり、昨年同様、参加者全員を対象に、1市2町の特産物が当たる抽選会を実施しました。

第3回定例会

・審議した議案③

意見書

■国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書
北海道は、自然豊かで広大な大地と海に育まれた豊富で新鮮な食を強みに我が国の食料供給を担うとともに、独自性や優位性を活かし、将来にわたって持続可能な活力ある北海道の実現を目指している中、近年の頻発化する自然災害等のリスク増大のほか、今後一斉に更新期を迎える橋梁などの公共施設の老朽化など様々な課題を抱えています。

今後、平時時・災害時を問わず北海道の強みである「食」や「観光」に関係する地域の潜在力が最大限発揮されるよう、防災・減災、国土強靱化に資する社会資本整備の充実強化を図られることを強く求める意見書を可決し、衆参両院議長及び関係大臣宛に提出しました。



認定

令和3年度の各会計決算を審議

■令和3年度各会計歳入歳出決算認定
令和3年度の各会計決算が提出され、決算審査特別委員会に付託して審議することとし、9月15日開催の委員会にて審議した結果、委員会としては原案認定となりました。

翌日16日に開催された本会議において、決算審査特別委員会の三田委員長から、各会計決算を認定する旨の審査結果報告がなされ、採決の結果、全会一致で決算を認定しました。

詳細については、6ページからの「決算審査特別委員会」をご覧ください。

報告

健全化判断比率及び資金不足比率

令和3年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について、監査委員の審査意見書とともに報告がなされ、財政健全化審査については、一般会計が黒字のため「実質赤字比率」及び「連結実質赤字比率」においては比率なし、「実質公債費比率」も早期健全化基準の25%を大きく下回る7・9%であり、「将来負担比率」も算定されないことから、本町の財政は健全であると言えます。

また、経営健全化審査では、簡易水道及び公共下水道特別会計ともに「資金不足比率」はなしで、現段階では2つの企業会計とも経営は健全であるとと言えます。

「健全化判断比率」
地方公共団体の財政状況を客観的に表し、健全化や再生の必要性を判断する、4つの財政指標の総称。

「資金不足比率」
公営企業の資金不足額を料金収入と比較し、経営状態の悪化の度合いを示す指標。

健全化判断比率 (単位: %)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
-	-	7.9	-
(15.0)	(20.0)	(25.0)	(35.0)

() 書きは早期健全化基準

資金不足比率 (単位: %)

特別会計の名称	資金不足比率	備考
簡易水道特別会計	-	経営健全化基準
公共下水道特別会計	-	20.0

第3回定例会

・決算審査特別委員会②

第3回定例会

・決算審査特別委員会①



学校教育の状況

相談内容は様々ですが、やはりコロナ禍による不安が大きいと思われるが、相談者の内容によって一度で終わる場合もあれば、繰り返しという場合もあります。

なお、本町にはスクールカウンセラーはいませんので、現状では北見市から専門職の方に適宜依頼し、相談体制を取っています。

教育長 手元に資料は持ち合わせていませんが、たしか二十数回の教育相談を行っています。

但木 昨年度の実態としてどれくらいの児童生徒がスクールカウンセラーを利用したのでしょうか。

また、相談することによってどのような改善が見られたのか伺います。

「スクールカウンセラー」

学校内において児童や生徒、その保護者に対して、臨床心理に関する専門知識を生かしながらサポートしていく専門家。

全国的には、児童生徒の場合、友人関係や家庭での悩み、学習に関する相談が多く、昨今のコロナ禍や災害、環境変化などによるストレスも増えている。

また、教職員の悩みに対する心のケアや、特別支援教育・不登校などについて教員研修の講師を依頼している自治体もあり、より幅広い業務が求められている。

教育長 その両方です。保護者から依頼される場合もあれば、学校側から周知する場合もあり、両方の体制を取っています。

但木 相談をしたい場合、例えば保護者の方から要請するのか、または学校側から事前にスクールカウンセラーが来ることをお知らせしたうえで、保護者が申請するのか伺います。

決算審査特別委員会委員長報告 (要旨)

国内の経済情勢は、新型コロナウイルス感染症やロシアによるウクライナ侵略などの影響を受け厳しい状況の中、本町における令和3年度の財政状況等については、第5期総合計画と第2期地方創生総合戦略の初年度として、重点プロジェクトの実行に努めながら、限られた財源の中で最大の事業効果が発揮できるように、国・道の補助制度の積極的活用や交付税措置が見込まれる起債発行などの財源確保と、バランスの取れた行財政運営が図られるよう務められ、健全な状況となっています。

地方自治体を取り巻く環境は、財政・医療福祉面などにおいて益々地域格差が拡大し、依然として厳しい状況ですが、今後も引き続き、町民ニーズの確かな把握と、安定した財政基盤の確立を図るべく、行財政運営に努めることを望んでいます。

第4回定例会は12月に開催されます!!

日程の詳細は、町広報12月号の折込みチラシをご覧ください。
 傍聴を希望される方はマスクの着用など感染症予防対策にご協力願います。



令和3年度各会計
 決算を徹底審議!

決算審査特別委員会 質疑の中から

決算審査特別委員会 9月14日・15日

令和4年9月14日開催の第3回定例会において、令和3年度一般会計及び6つの各特別会計の決算が提案され、議長及び議会選出の監査委員(山内議員)を除く7名の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、付託して審査することを決めました。

9月14日に開催した特別委員会では委員長に三田議員、副委員長に但木議員を選任し、15日開催の特別委員会において審議を行った結果、全会一致で決算を認定すべきと決定し、特別委員会を閉会しました。

翌日9月16日開催の定例会本会議において、三田委員長から決算を認定すべきとの委員長報告が行われ、その後の採決で、全会一致で決算認定の議決を行いました。

9月15日に開催された決算審査特別委員会の質疑についてお届けします。

なお、紙面の都合上、質問と答弁は要約しています。

雇用対策の状況

但木 雇用対策について、通年雇用化に向けた取り組みを行ったとありますが、実際に通年雇用となった事例はあるのでしょうか。

経済課長 これは、遠軽地区通年雇用促進協議会が行った内容であり、具体的に取り組みとしては国費を利用して大型車両等の運転免許取得費用などの助成をしています。本町においても数件の事例がありますが、その後の通年雇用化への移行という部分では当協議会では把握していません。



但木 当協議会に本町も加盟して、それらの成果について何ら示されておらず、決算報告なのであれば、「今年はこのような実績であったため、来年はこのように取り組む」などといった表現や評価の示し方があってよいのではないですか。

経済課長 当協議会では、その他に季節労働者に対する協議会事業の周知や、企業を対象に通年雇用奨励金説明会なども開催したうえで、その後の季節雇用保険加入者の推移をもって成果としている状況です。

副町長 雇用関係については、ハローワークが主体となり、本町も加盟する当協議会と連携をして、就労支援という形で通年取り組んでいるということでご理解いただきたいと思います。

また、一人一人の季節雇用者の就労状況の把握は難しいというのが実態です。

令和3年度決算状況

区分	最終予算額	歳入決算額	歳出決算額	収支差引
一般会計	68億4,836万円	68億5,788万円	66億4,703万円	2億1,085万円
簡易水道特別会計	3億2,089万円	3億2,127万円	3億1,117万円	1,010万円
国民健康保険特別会計	7億7,148万円	7億7,697万円	7億6,862万円	835万円
公共下水道特別会計	2億6,985万円	2億7,035万円	2億6,074万円	961万円
介護保険特別会計	5億3,361万円	5億4,196万円	5億1,155万円	3,041万円
介護サービス事業特別会計	2億5,248万円	2億5,737万円	2億4,915万円	822万円
後期高齢者医療特別会計	9,116万円	9,100万円	9,004万円	96万円
合計	90億8,783万円	91億1,680万円	88億3,830万円	2億7,850万円

第3回定例会

・一般質問②

※「地域公共交通アドバイザー業務委託事業について」の質問は、紙面の都合上、割愛しました。

物価高騰対策について

新型コロナウイルス禍やロシアによるウクライナ侵攻により、物価高騰が厳しさを増し、住民の暮らしや営業、産業を脅かしています。

値上げは食料品、光熱水費など生活必需品を中心にあらゆる品目にわたっており、この秋にはさらなる高騰も予想されているだけに、町の支援が求められると考え、以下について伺います。

【質問① 水道料金の減免について】

これまでにない物価高騰の影響を受けた全町民への一番の支援策は、湧別町でも打ち出した「水道料金の減免」であると考えることから、この支援策について町の考えを伺います。



但木早苗 議員

【答弁】(町長)

それらの支援策を講じた自治体は、本年5月に国から交付された「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」に創設された、原油価格・物価高騰等総合緊急対策分を活用しているものと思われ、名称どおりの対策費として使い道が定められたものですが、これまでの臨時交付金同様、交付要綱に基づいた自治体独自の事業に活用できるものであり、本町では10月に販売予定のプレミアム付全町共通商品券発行事業と、高齢者世帯生活支援事業に充てることとしました。

国では、各種物価抑制対策にさらなる追加策を講じることで決定され、交付金配分額及び具体的な要綱等が示されましたら、この交付金を有効に活用したさらなる支援策を協議したいと考えています。

【質問② 飼料・肥料等が高騰している農家支援について】

物価高騰は、生活必需品のみならず、飼料や肥料、資材等も高騰し、農家の経営にも大きな影響をもたらしており、国では肥料について条件付きの7割補填ということが検討されているようです。

町長の行政報告にもありましたが、子牛の価格も下がっており、今この状況全般が農業経営を圧迫していることから、町として何らかの支援策を考えているのか伺います。

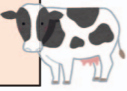
【答弁】(町長)

飼料に関して、国は6期連続の通常補填と5期連続の異常補填を行っています。補填後も価格高騰の影響は大きいものがあります。

現在のところ、農協では単独支援を考えておらず、町としても同様ですが、今後の情

「配合飼料安定基金」

加入生産者等から積立金を徴収し、それを財源として配合飼料の値上がりがあった場合に補填金を交付し、畜産経営への影響を緩和する制度で、畜産経営者及び配合飼料メーカーが積み立てた基金により運営される通常補填制度と、これによっては対処し得ない大幅な配合飼料価格の高騰があった場合に発動され、その一部を国が助成している異常補填制度から構成されている。



第3回定例会

・一般質問①

2名の議員が一般質問を行いました。
(紙面の都合上、質問と答弁は要約しています)

一般質問



渡辺一馬 議員

町防災行政無線の現状について

【質問】

防災行政無線の現状や、放送内容の基準等について伺います。

【答弁】(町長)

受信機の普及率は93・5%、不具合等による交換26台、外部アンテナ設置34台となっています。

放送内容の基準として、緊急放送は災害発生時の避難情報や気象警報など、臨時放送は悪天候等におけるふれあいバスの運休や公共施設の閉鎖などをお知らせし、定時放送は町民全般に関係する行政情報やイベント等の案内も放送しており、重要な情報発信源として適正な管理と円滑な運用を推進してまいります。

**町の一大イベントが幕を閉じ残念に思う
長年携わってきた町長が今思うところは**

町長：今まで支援いただいた皆さんに感謝
新たなイベント企画の発案に期待

【質問】

合葬墓の現在の利用状況について伺います。

【答弁】(町長)

8月末までの使用許可実績は、町内申請者5件、町外申請者2件の15体で、納骨完了は4件9体となっており、時代のニーズに沿った墓地管理・運営をしていきます。

【質問】

ごみ収集について

燃やすごみについて、暑い時期だけでも市街地区と同様の収集回数にするなど、今後見直しを考えているか伺います。

【答弁】(町長)

燃やすごみの収集量は、昨

かぼちゃ祭りの終了について

【質問】

かぼちゃ祭りの終了について、町長が今思うところを伺います。

【答弁】(町長)

かぼちゃ祭りとして親しまれた「シンテレラ夢まつり」が終了に至ったことは、残念極まりなく、コロナ禍で2年間中止となり、規模を縮小

年度639トンで増加傾向であり、収集体制は委託業者が6名体制で行っており、これまでも同様の要望にて業者と協議した経過もあります。

現状では解決が難しく、収集回数に違いがあることは改善すべきと考えており、令和6年度以降の協議、検討に加えていきたいと思います。

でも開催できればと願っていましたが、任意の町民で組織する実行委員会から終了の報告を受け、複雑な経過を含んだ組織での決定を受け入れるしかない状況でした。新聞やテレビでも報道され、終了を惜しむ声、なぜやめたのかと理由を求める声など、町内外のたくさんの方からいただき、改めて多くの人に親しまれ期待されてきたことを痛感しました。

いま私が思うことは、祭りの初回から実行委員に加わり、第31回・32回は会長を務め、誰よりもこの祭りを愛してきた私としては、祭りの灯を消したくなかったというのが率直な思いですが、現実を受け止めなければならず、34年間続けられたことで、実行委員のメンバーや常に深い理解と温かい支援をいただいた町民関係者の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

かぼちゃ祭りの歴史に幕を下ろすことにはなりますが、「かぼちゃのまち佐呂間町」の灯は決して消えるものではなく、新たなかぼちゃイベント企画の発案に期待を持ち、最大限の支援をしていきたいと考えています。

また、業種を絞った中での支援となると、その必要性というものを町民の皆さんに理解していただけるような形で予算化することになります。

町としても、離農者が出てくるというような危機感も当然持っています。農業に関して国では今新たな支援策を打ち出すという情報も入ってきていますので、それらを参考にしたい形の中で、まずは国、北海道の事業を優先して町の産業を支えていきたいと考えています。

議会ニュース

・議会の活動状況

議会の活動状況 (令和4年8月～10月)

令和4年8月

- 8月8日(月)
 - ◎政治倫理要綱小委員会
- 8月22日(月)
 - ◎第2回北海道市町村職員退職手当組合議会定例会 (札幌市)
- 8月26日(金)
 - ◎政治倫理要綱小委員会



令和4年9月

- 9月5日(月)
 - ◎総務福祉常任委員会
- 9月6日(火)
 - ◎産業文教常任委員会
- 9月13日(火)
 - ◎議会運営委員会
- 9月14日(水)
 - ◎町議会第3回定例会
 - ◎決算審査特別委員会
 - ◎産業文教常任委員会
- 9月15日(木)
 - ◎決算審査特別委員会
- 9月16日(金)
 - ◎議会運営委員会
 - ◎町議会第3回定例会
 - ◎議会広報特別委員会
- 9月21日(水)
 - ◎政治倫理要綱小委員会

令和4年10月

- 10月14日(金)
 - ◎第6回石北本線合同会議 (遠軽町)
- 10月17日(月)
 - ◎議会広報特別委員会
- 10月18日(火)～20日(木)
 - ◎遠紋地区市町村議会議長会道内行政調査 (札幌市他)
- 10月21日(金)
 - ◎オホーツク圏活性化期成会北海道要望 (札幌市)
- 10月24日(月)
 - ◎第3回全員協議会
- 10月31日(月)
 - ◎町議会第3回臨時会
- 11月1日(火)
 - ◎道東4地区管内町村議会議長会連絡協議会 (網走市)



請願・陳情は、国、道、町政に住民の皆さんの意見や要望を反映させる方法の一つで、個人、団体を問わず誰でも提出することができます。

請願と陳情について

(本文)

○○○○○○○○
 に関する請願(陳情)

要旨

理由

令和○○年○○月○○日
 佐呂間町議会
 議長 ○○○○ 殿

佐呂間町字○○町○○番地
 署名又は記名押印

《 記載例 》

(表紙)

○○○○○○○○○に関する

請願書
 (陳情書)

紹介議員 署名又は記名押印

※陳情書の場合は、紹介議員は不要です。

<若佐神社 秋季祭典>



<佐呂間神社 秋季例大祭>



事務局
21/10

町内の各地域において、秋季祭典が行われました。3年振りに露店が並び、子ども達も楽しんでいました。



町で輝いている人たちを紹介します



みんなの笑顔で

まちを元気に！



Vol.33 「佐呂間パークゴルフ協会」

佐呂間パークゴルフ協会は佐呂間協会37名と、2地区（若佐、浜佐呂間）の同好会65名で活動しています。

町内での活動は、5月から11月まで月1回の例会を行い、その他各種大会にも参加しています。

また、本協会はオホーツク地区パークゴルフ協会連合会及び、遠軽ブロックパークゴルフ協会に加盟しており、町外の大会にも参加しています。が、新型コロナウイルスの影響で遠軽ブロック大会のみの参加となっています。

健康増進、体力増進のため、日々練習していますので、どうぞ皆さんもご参加ください。

（協会長 荻原弘純）



議員のこぼれ話

日常

先日何った小学校にて、児童が撮影した身近な草花の話について書く予定でしたが、今朝のJアラートを聞いて、今ある日常がいつまでも続かない不安になり、テレビで見ただロシアによるウクライナへの軍事侵攻の場面が頭をよぎりました。

この身勝手な暴挙により、頑丈な建物内や地下に居るように伝えられても為す術がなく、今後このような事態とならない事を祈るばかりです。

小学校の話に戻しますが、休み時間に校長先生から借りたカメラで撮影したひっそりと咲く草花は、とても生き生きとした表情をしており、子ども達の視線から見た日常の素敵な風景を決して奪ってはいけなと思います。

いつか皆さんに見ていただく機会を設けたいです！



三田 真美

編	集
講 会 広 報	員 員 員
特 委 委 委	副 委 委 委
委 委 委	員 員 員
員 員 員	面 面 面
渡 山 土	高
辺 内 田	橋
一 一 剛	紀
馬 弘 剛	久
栄 次	